

七尾市国民健康保険加入者の皆さんへ 人間ドックを受ける場合、助成があります!

受付開始日 **5月11日(月)** 受検期間 **6月～11月**

事業内容 七尾市国民健康保険加入者が、市の指定する検査機関で6月から11月までの間に検査を受けた場合、検査費用を一部助成します。

- 対象者 次の①～④すべてに該当する人
- ① 40歳から69歳まで(昭和21年4月1日から昭和51年3月31日生まれ)の七尾市国民健康保険加入者で、国民健康保険税を完納している世帯に属する人
※人間ドック受検時に40歳から69歳であることが条件です。
 - ② 現在内科系などの疾病(心疾患、脳血管疾患、糖尿病、高血圧、脂質異常症など)により、治療を受けていない人
【申請時に治療継続中か確認します】
 - ③ 前年度、助成を受けて人間ドックを受けていない人
 - ④ 今年度、特定健康診査を受けていない人
※助成対象となる人間ドックは特定健康診査を兼ねるので、受検期間内1回の受診になります。



実施検査機関…公立能登総合病院、恵寿総合病院

	1泊2日	脳ドック	1泊2日・脳ドック併用
受検費用	(自己負担額) 18,840円	(自己負担額) 13,000円	(自己負担額) 28,920円
	(助成額) 43,800円	(助成額) 30,200円	(助成額) 67,200円

※別途、特定健康診査自己負担分500円がかかります。

申込方法 窓口での申し込みが必要です。 国民健康保険被保険者証、印鑑(認印)、特定健診受診券
電話での予約や受け付けは行っていません。

問 保険課(ミナ、クル内) ☎53-8420
申請は各市民センターでもできます。

健診は、あなたの健康を守るスタートライン!

七尾市の医療費は年々増加しています。医療費の増加は窓口の自己負担や国民健康保険税の増加につながり、皆さんの家計にも影響します。

医療費増加の要因の一つに生活習慣病の重症化による心臓病や脳血管の病気の発症、慢性腎臓病による人工透析の導入などがあります。これらの病気は、体や時間、家計にも大きく負担をかけるものです。

しかし、生活習慣病という名のとおり生活習慣で予防できるものです。そして早期のうちなら少ない医療費ですみます。

特定健診を受けて、体の状態を客観的にみておくことで、自分では気付かない病気の芽を早期発見できます。年に1度は健康チェック(特定健診)を受けましょう。なお、平成26年度は、5,024人が特定健診を受けました。ご協力ありがとうございました。



あなたが加入している医療保険は何ですか? 確認して、あなたにあった健診を受けましょう。

加入している健康保険	対象者	健診の種類
七尾市国民健康保険	30～39歳 (昭和51年4月1日～昭和61年3月31日)	特定健診
	40～74歳 (昭和15年12月1日～昭和51年3月31日) ※昭和15年6月1日～11月30日生まれの健診日当時75歳に到達していない人も対象	
後期高齢者医療保険	75歳以上 (昭和15年12月1日以前生まれ) ※要介護認定者を除く	長寿(後期高齢者)健康診査
七尾市国保以外の医療保険加入者(被扶養者も含む)	職場での健診、または各保険者が行う特定健診を受診してください。 ※詳しくはそれぞれの職場・各医療保険者へお問い合わせください。	

特定健診を受けると体の状態がわかります。
～特定健診の検査項目と基準値から外れた場合に考えられる主な病気～

項目	検査の内容	基準値から外れた場合に考えられる主な病気
診察等	視診、触診、聴打診などを行います	—
問診	現在の健康状態や生活習慣をお聞きします	—
身体計測	身長、体重、腹囲を測ります	—
血圧測定	血圧を測ります	高血圧症・動脈硬化・心疾患・脳卒中等
血中脂質検査	中性脂肪・善玉・悪玉コレステロールを測定します	動脈硬化・脂質異常症など
肝機能検査	肝細胞の酵素を測定します	肝臓の病気・脂肪肝など
血糖検査	空腹時血糖またはHbA1cを測定します	糖尿病など
尿検査	尿中に蛋白、糖、潜血を試験紙で検査します	腎臓の病気など
心電図検査	心臓の働きを調べます	不整脈・狭心症等心臓の病気など
貧血検査	血液中の赤血球数、血色素量などを測定します	多血症、貧血など

長年の生活習慣で、血管の内部がつまり、病気が進んでいきます!

知っているようで知らない、自分の体。特定健診を受けて、今の血管状態を確認してみたら?

つまりははじめると、進行が早くなります。

